

取組名

ドローンを利用した建物診断

実施者

提案者

株式会社平成建設 ドローンリサーチ

愛知県

都市・交通局港湾課

実施期間

2023年12月～ 2024年2月

関連するゴール



実施内容

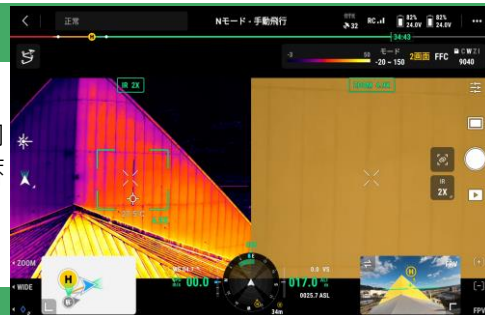
赤外線ドローンを活用した屋根等外装点検について、ドローン建物診断・点検の【技術やノウハウの確立・事業の普及や認知】という課題を抱えている

一方、一定の築年数が経ち、メンテナンスが必要とされる(公共)建築物等は修繕が課題となっている。特に高層建築物の屋根などについては点検のハードルが高く、現状を把握する事が難しい。

愛知県都市・交通局港湾課が所管する『海陽ヨットハーバー』クラブハウス中央棟(全高25m)において、雨漏り対策・要修繕箇所を選定について課題を抱えていた為、当社が保有する赤外線ドローンで調査・点検を実施した。

成果

水分が滞留している(雨漏りの原因になる)箇所がピンポイントで発見できた為、要修繕箇所を選定や工法選択など、課題解決に向けて情報共有が出来た。当方としても技術の向上やノウハウの蓄積ができた。今後も関係各所とさらに連携して【ドローンを利用した建物診断】を提案、実施すべきであると確信できた。



感想、今後の展開など

今回の実施期間中に、他の自治体でも同じ課題を抱えていると連絡を受けた。
①現状把握 ②修繕の優先順位決定 ③修繕工法の選択 という点においてドローン建物診断が有効であり、今後もさらに活躍することが期待されている。
作る側の人間として、皆が安心して使い続け、住み続けられるまちづくりを地域と連携してさらに進めていきたい。